

## 優れた実績を上げている小学校PTA、小学校PTA 活動への功労者（個人）を文部科学大臣が表彰します！

これまでの優れた功績により、次の団体及び個人が文部科学大臣表彰を受けます。

### 1 表彰の趣旨

#### (1) 令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰

PTAの本来の目的・性格に照らし、優秀な実績を上げているPTAを表彰し、PTAの健全な育成、発展に資することを目的とします。

#### (2) 令和5年度PTA活動振興功労者表彰（5年に一度の実施）

PTA活動の振興に顕著な功績のある者を文部科学大臣が表彰し、PTAの健全な育成と発展に資することを目的とします。

### 2 被表彰団体及び被表彰者

- ひろしましりつやがしょうがっこう  
(1) 広島市立矢賀小学校PTA  
みはらしりつさぎうらしょうがっこう  
三原市立鷺浦小学校PTA  
ふくやましりつにししょうがっこう  
福山市立西小学校PTA  
ひがしひろしましりつなかぐるせしょうがっこう  
東広島市立中黒瀬小学校PTA

- (2) 山田 洋子（広島県PTA連合会 元副会長）  
かくだ ゆう  
角田 優（広島市立幟町小学校PTA 会長）  
ふじい ひろひさ  
藤井 裕久（福山市PTA連合会 会長）  
どうじょう しゅんじ  
道城 俊二（福山市PTA連合会 前会長）  
おおつか さちえ  
大塚 佐知恵（福山市PTA連合会 元会長）

※功績概要は、裏面のとおり

### 3 表彰式

- (1) 日時 令和5年11月24日（金）  
(2) 場所 ホテルニューオータニ  
（東京都千代田区紀尾井町4番1号）

《参考》 令和5年度の被表彰団体数及び被表彰者数【高等学校・中等教育学校PTA】部門  
団体数 122 団体 被表彰者数 136 名

## 令和5年度優良PTA文部科学大臣表彰

団体名	功 績 概 要
<p>ひろしましりつやがしょうがっこう 広島市立矢賀小学校PTA</p>	<p>コロナ禍で楽しみの少ない児童のために、コロナ禍でも密にならずに全員参加できる活動として、「映画観賞会」や「忍者屋敷からの大脱出」（体育館に段ボール迷路を設置）などの地域と連携した行事の開催や創立150周年記念事業においては「矢賀小学校ゆるキャラ創造プロジェクト」を立ち上げ、児童が考えたキャラクターをPTAが電子化し、缶バッジやのぼり旗を製作するなど、創意工夫を凝らした積極的な取組を進めている。</p>
<p>みはらしりつさぎうらしょうがっこう 三原市立鷺浦小学校PTA</p>	<p>保護者加入率、PTA総会出席率ともに100%であり、小規模校の特徴を活かし、保護者間の密な連携のもと、協働的な組織運営をしている。「トライアスロンさぎしま大会」での給水支援や、地域おこし協力隊やボランティア団体と連携し、島民の方とも交流を深めながら、堤防に絵を描く「堤防アート」や島内美化運動等、地域性を活かした様々な取組を行っている。</p>
<p>ふくやましりつにししょうがっこう 福山市立西小学校PTA</p>	<p>コロナ禍での活動の見直しや精選に取り組んでおり、ペーパーレス化の推進により印刷資料を従前の4分の1まで削減した。また、平成29年度に開始した全員参加型PTA活動「みんなで参加し隊」の導入状況を踏まえ、役員等の業務見直しを行い、学年理事と代表委員の統合や専門部の統合による組織のスリム化など時代の流れに応じた組織改革を進めている。</p>
<p>ひがしひろしましりつなかぐろせしょうがっこう 東広島市立中黒瀬小学校 PTA</p>	<p>住民自治協議会との連携による児童の「米作り」の支援、ふれあい農業祭でのポン菓子や野菜販売等の手伝い、実業団や大学生等のトップアスリートを招聘した「スポーツフェスティバル」の開催支援等、地域との協働活動に大きく貢献している。</p> <p>また、学校が40年以上継続してきた「とんど」について、とんど部36名が中心となり、学校・地域と共に検討を重ね、3年ぶりに縮小開催するなど、コロナ禍でも工夫しながらできる活動に取り組んでいる。</p>

## 令和5年度PTA活動振興功労者表彰

氏名	主要PTA経歴	功 績 概 要
<p>やまだ ようこ 山田 洋子</p>	<p>広島県PTA連合会 元副会長</p>	<p>広島県PTA連合会副会長として、「PTA活動の活性化が不可欠である」との理念の下、各郡・市PTA連合会に対し、研修や活動内容について、様々なアドバイスや情報提供を行うなどの支援を行い、各郡・市PTA連合会の課題解決や活動の活性化に貢献することともに、団体相互の連携強化に寄与した。</p> <p>また、公益財団法人日本PTA全国協議会副会長として、主催行事である全国小・中学校PTA広報紙コンクールでは、コロナ禍で休校や行事の中止が相次ぎPTA活動が滞ったことで、広報紙が例年通り発行できない状況を考慮し、応募条件を見直すなど、柔軟な対応方針を打ち出し、単位PTAからの応募の増加に向け、強いリーダーシップを発揮した。</p>

<p>かくだ ゆう 角田 優</p>	<p>広島市立幟町小学校 P T A会長</p>	<p>広島市立幟町小学校P T A会長として、コロナ禍で検討事項が多い教職員の負担軽減のため、「保護者に関わることはP T Aで行う」という方針を明確に示し、実践した。</p> <p>また、児童の陸上大会や水泳記録会、スピーチコンテストなどの参加費や交通費を補助し、児童が参加しやすい環境をつくり、持てる力を学校外で披露し、さらに自信を高めることができるよう尽力した。また、専門的な外部講師を招き、児童の力量を高めることに貢献するとともに、教職員の負担軽減も図った。</p>
<p>ふじい ひろひさ 藤井 裕久</p>	<p>福山市P T A連合会 会長</p>	<p>福山市P T A連合会会長として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が進む中、令和3年度に、いち早く、福山市内の全ての公立小・中学校に、消毒液の寄贈を行い、児童・生徒の感染症対策に寄与した。また、長期にわたるコロナ禍の中で、給食時間も黙食で会話を我慢したり、楽しみにしていた行事が中止になった子供たちや、学校行事の中止などが重なり、やりきれない思いを持ちながらも、感染対策を講じながら授業を続ける教職員に対する感謝とエールの意を込めた打ち上げ花火や、各校のP T A役員代表から子供たちや教職員に対するメッセージを集めた動画の作成・提供などを企画・実施するなど、会長として強いリーダーシップを発揮した。</p>
<p>どうじょう しゅんじ 道城 俊二</p>	<p>福山市P T A連合会 前会長</p>	<p>福山市P T A連合会会長として、70周年記念式典の運営を総括するとともに、保護者等向けの記念講演会や各校長会、地域の方を交えた祝賀会の開催において中心的な役割を果たした。</p> <p>福山市立川口小学校P T A会長として、コロナ禍で地域の方々を元気づけるため、児童の制作した絵灯籠の展示会を地域で開催し、コロナ禍での地域交流及び活性化に貢献した。</p>
<p>おおつか さちえ 大塚 佐知恵</p>	<p>福山市P T A連合会 元会長</p>	<p>福山市立幸千中学校P T A会長として、年3回程度開催していた少人数を対象とした講演や制作活動の内容を見直し、多くの保護者、生徒、教職員が参加できる教育講演会（約700名が参加）を年1回開催することとし、より多くの者に学びの機会を提供できるような仕組みとするとともに、参加が出来なかった者に対しては、広報誌の紙面を活用し、情報提供できるような仕組みとした。さらに、福山市P T A連合会や県P連が主催する講演会への参加についても、会員に積極的に声掛けを行うなどにより、参加を促し、多様な学びの機会の提供に努めた。</p>

※ 被表彰者の主要P T A経歴は令和5年3月31日現在